



平成19年4月26日

国土交通省 道路局長 殿

高取町長 筒井良盛



今後の道路政策及び道路の整備・管理についての意見書の送付について

貴職におかれましては、日頃から道路行政を通じ、高取町に格別のご指導、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

別紙のとおり、「今後の道路政策及び道路の整備・管理についての意見書」を送付いたしますのでよろしくお願いいたします。



今後の道路政策及び道路の整備・管理についての意見

道路は、日常生活から経済活動に至るまですべての経済社会活動を身近に支える最も基礎的かつ重要な社会資本であり、少子・高齢化が急速に進展していく 21 世紀において、豊かな地域社会の実現のためには、その整備充実は欠かせないものです。また、地方の生活を支える最も重要な社会基盤として、地域の交通の円滑化に資するほか、都市部と地方部の交流・交易基盤として、その必要性はますます大きくなっています。

当町では、城下町としての歴史と文化を生かしたまちづくりを進め、交流人口の増加を目指しています。

先日、民間の有志で開催された「町屋のひな祭り」のイベントが1月間の短期間に本町人口を上回る 8,000 人が訪れ、好評を博しています。

交流人口の更なる増加には、高速道路を始めとする広域道路網ネットワークの早期完成が不可欠であり、今後も道路整備を進めることが最重要課題であります。

しかし、本町におきましては、国道169号線が朝夕の慢性的な渋滞により、地域住民の日常生活をはじめ緊急医療、更には消防活動などに多大な支障をきたしております。

国道169号線バイパスは、現在、高取町内区間の建設中ではありますが、全線開通までには、今後数年間の期間を要する見込であり、早期完成を強く要望しているところであります。

また、本町は、城下町としての地形的制約もあり、町道の拡幅が不可能であり、現在一方通行を余儀なくされており、支線や退避所もないことから、安全面から観光客の歩行にも支障を生じ、観光面での発展の支障となっています。

このため、町道と国道169号線を結ぶ町道支線の建設が緊急な課題となっています。

このように、本町では、道路の整備は、その量的・質的な面でまだまだ多くの課題を残しているのが現状であります。

現在、国では、道路特定財源の見直しの中で、「今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成する」こととなっていますが、国におかれましては、幹線道路網や公共交通機関が整っている大都市と本町のように整備がおくれている地方町村では、道路整備に対する国民の意識に違いがあることを十分に認識し、地方における道路網整備の実態とその必要性を認識され、その財源を確保する道路特定財源制度を堅持し、地方の道路整備が遅れることのないよう強く要望し、意見といたします。

平成 19 年 4 月 26 日

奈良県高市郡

高取町長 筒井 良

